

砕氷船積排出装置の開発

Development of Discharge-machine of Crushed Ice to Fishing-Boat

情報システム部 多田 達実・鈴木 慎一

■支援の背景

道東で行われているサンマやイカ漁では、出漁前に低温保存用の砕氷をトラックの荷台から船に積み込む作業が行われています。通常その作業は荷台の上に作業者が乗りこみ高所から氷を掻き出すことで行われており、作業者がバランスを崩し地上に落下することがあります。相談企業では、そのような事故を防止し且つ作業時間を短縮するために荷台の砕氷を定量排出する装置を開発することとなり、当场には開発装置の強度や作業能率などの性能試験とその評価方法について技術支援が求められました。

■支援の要点

1. 性能試験方法の決定
2. 性能試験結果の分析・評価



■支援の成果

1. これまでに対応してきた同種の砕氷を扱う装置の試験方法を参考にし、開発装置の試験方法を決定しました。
2. 砕氷の搬送能力や装置の強度および移動性についての試験を行い、性能を明らかにしました。
3. 強度については試験データを分析して各部の強度の過不足を明らかにし、強度の改善検討を進めることができました。

(株)トータルラインパック津山 羅臼町知昭町429番地 Tel. 0153-88-1147